

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（社 員）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数が増加した。	
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	単価の動き	・非ウールコートなど防寒用品が12月に比べて非常に良くなっている。また、カシミアなどの高額商品がクリアランスで安くなったため動き出し、売上はやや好調である。	
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・正月の初売りで福袋などが例年より2、3時間も早く完売した。また、5円玉の入った福財布も前年の5割増となり、幸先の良いスタートとなった。	
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・かなり低迷していたビールや発泡酒などが、特に若い層に受けて、販売量が2割程度増加している。	
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・来客数で最も増加したのはスキー客である。景気が悪いと言われる割には遊びに十分お金を使っている人がみられ、徐々に景気は良くなっているという印象である。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・月半ばまでは新年会があり、また後半には大雪があったため、忙しい日々が続いた。	
		パチンコ店（店 員）	販売量の動き	・正月で帰省客や学生の来店客が増加し、前年を上回った。	
	変わらない		商店街（代表 者）	販売量の動き	・大寒に入ってから大雪に見舞われ、客足も途絶えたが、その後は反動で来客数が増加し、例年並みとなった。
			商店街（代表 者）	お客様の様子	・中心商店街の初売り以降、セールも好調で近年まれに見る人通りでにぎわった。しかし、20日過ぎからの大雪で若干苦しい展開になっている。
			百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・気温の低下で冬物の商材が売れるようになったが、既にセール期に入っているため単価が下がっており、売上は前年並みである。また、22日からの大雪に伴い来客数が激減し、販売量が減っている。
			スーパー（店 長）	お客様の様子	・今月前半は暖冬のため来客数が例年より若干増えたが、客単価は若干落ちこんだ。後半は雪のため来客数が減ったが、客単価の上昇により売上は微増となった。月間トータルでは落ちこんでいる。
			スーパー（店 長）	単価の動き	・正月を中心に衣料品、住まいの商品が健闘したため、来客数は前年を上回ったが、客単価は前年割れとなっている。
			スーパー（店 長）	来客数の動き	・年始の売上は前年比3%増加しているが、特に年賀ギフトが同10%増加し、福袋が順調に売れた。来客数は10%増加したが、客単価は7%ダウンした。22日からの大雪のため、トータルではまずまずである。
			スーパー（総務 担当）	お客様の様子	・売上の落ち込みを防ぐために、価格を下げて販売するとそれなりに来客数も売上も増加するが、長続きしない。
コンビニ（経営 者）			単価の動き	・1月初旬は好天が多く、売上が増加した。また、22日からは大雪のため、1人当たり客単価が上昇した。	
衣料品専門店 （経営者）			お客様の様子	・今月は雪の影響もあったが、客の買物に対する慎重な姿勢は変わらない。	
家電量販店（経 営者）			販売量の動き	・昨年に引き続いてデジタル家電が好調である。中旬に寒波が到来したため、季節商品では石油暖房器具が非常に売れた。	
乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・好調だった小型車が不振となり、前年割れとなっている。			
その他専門店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・普通酒はあまり売れないが、5,000円から1万円もする高価な大吟醸が比較的売れている。			
その他専門店 〔医薬品〕（営 業担当）	お客様の様子	・多くの新製品が登場している割には、買上点数が前年に比べてほとんど伸びていない。お金の余裕のある給料日以降の10日間しか買上点数が増えず、消費は伸び悩んでいる。			
高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・1月は例年より順調に推移していたが、22日からの大雪による相次ぐキャンセルで、1週間は全く動きがなく大幅なマイナスとなった。			

	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月前半は天候に恵まれたにもかかわらず、新年会の帰りに一人、二人と立ち寄る程度で、同業者からも新年らしくないとの声が聞かれた。後半は予約が入り始めたとともに大雪となり、客足が遠のき、結果的には例年の8割程度となった。前年同月との比較では1割増である。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・大雪によるキャンセルが相次ぎ、一般宴会は月初の見通しを下回ったが、宿泊、レストランの通常営業は上回り、全体では月初の見通しを上回った。前年との比較では婚礼宴会の実施件数が大きく下回り、減収となった。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・会社が経費を負担する新年会は少なくなり、新年会関連の乗客は期待はずれに終わった。また、繁華街も金、土曜日の夜に若干人出はあるものの、平日は静かである。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・正月明けは個人客を中心に来客数の動きは堅調で、大口の団体客の来場などプラス面もあった。しかし、後半は大雪によるキャンセルの影響で、最終的に1月は例年並みの来客数となった。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・個人客の動きはそこそこあるが、団体客がなかなか動かない。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少の理由は、客が他店へ流れるというよりは、当店への来店サイクルが伸びているためと思われる。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・計画が具体的な客ほど非常に慎重になっており、家造りは絶対に失敗したくないという客が増えている。住宅メーカーの財務内容や経営指標を経済誌などで調査し、確認してくる客も現れた。 ・展示場への来客数は増えていない。また、新規客との接点も減少している。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・リフォームをメインにしたフェアを行ったが、来場者は多いものの、成約には至らない。客は増改築を含めて住宅に関心はあるが、なかなか踏み切れず、交渉には時間がかかる。	
やや悪くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・BSEや鳥インフルエンザの影響で、牛肉や鶏肉が魚にシフトすると予想していたが、消費自体の冷え込みに加え、大雪による宴会等のキャンセルが相次ぎ、マイナスとなっている。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月中旬までの買上客数は前年の98%であったが、20日過ぎからの1週間は大雪のため同70%で、月間トータルでは前年の87%となっている。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・初売りは好調に推移したものの、中旬以降は低迷が続いている。	
	乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・例年1月は新車、中古車の大規模展示会を行っているが、期間中は前年に比べて入場者数で3割増、受注で1割増となった。しかし、月間トータルではいまひとつであった。	
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・今月は継続案件以外の動きがほとんどなく、冬眠状態であった。	
企業動向関連	悪くなっている	-	-	
	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・取引先に少し元気が出て、前向きへの対応がみられる。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・国内取引において、受注から納入までの期間が従来の2～3か月から1～1.5か月に短縮されている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・近隣の競争相手の状況から見て、業界の荷量はある程度増えているが、价格的にはまだまだ厳しい。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・法人向けの通信システム機器の売行きがよい。特に停滞していた流通系で動きが始まった。	
変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・注文数は変わらないが、1回の注文量が減少している。	
	化学工業（営業担当）	取引先の様子	・最近、経営破たんするドラッグストア、量販店が続出している。	

		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅関連は変わらないが、産業資材ではディーゼル規制の問題で車両分野に少し動きが出てきた。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界が長期低迷する中で、将来的に安定した取引が可能なメーカーを顧客が選択し始めている。業界全体では変わらないが、良いメーカーは更に良くなり、悪いところは更に悪くなるという二極化現象が更に進んでいく。
		司法書士	取引先の様子	・一部の業種において大きな取引がある一方で、老舗と言われる企業の廃業等がみられる。
やや悪くなっている		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月ごろに比べて手持ちの仕事量が大変少なくなっている。そのうえ1月下旬に大雪に見舞われ、除雪工事でそこそこ収入はあるものの、数少ない手持ち工事も雪のため着手できず、社員は遊び気味になっている。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・年末はかなりの荷物が動いたが、1月は全く荷動きがない。1月末も月末ということをお忘れるくらいに悪かった。
悪くなっている		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・北陸三県の民間建築、土木とも破格の低入札がエスカレートしており、採算度外視の競争で、適正価格の受注機会が極めて少なくなっている。
雇用関連	良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・東京、大阪、名古屋など都会地の求人数が増加している。全体でも前年比2割増加している。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年同月に比べて1割増加している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者が大幅に減少している。有効求人倍率も改善している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・求人に関しては3か月前から急激に良くなり、今はそれが普通の状態になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にあるが、やはり派遣、請負、パートなど不安定な求人募集が多い。一方、求職者は常用を探している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・企業の採用活動が早まっているように感じる。
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	